

第6章 知的財産部門の活動

はじめに

知的財産部門長 本間高弘

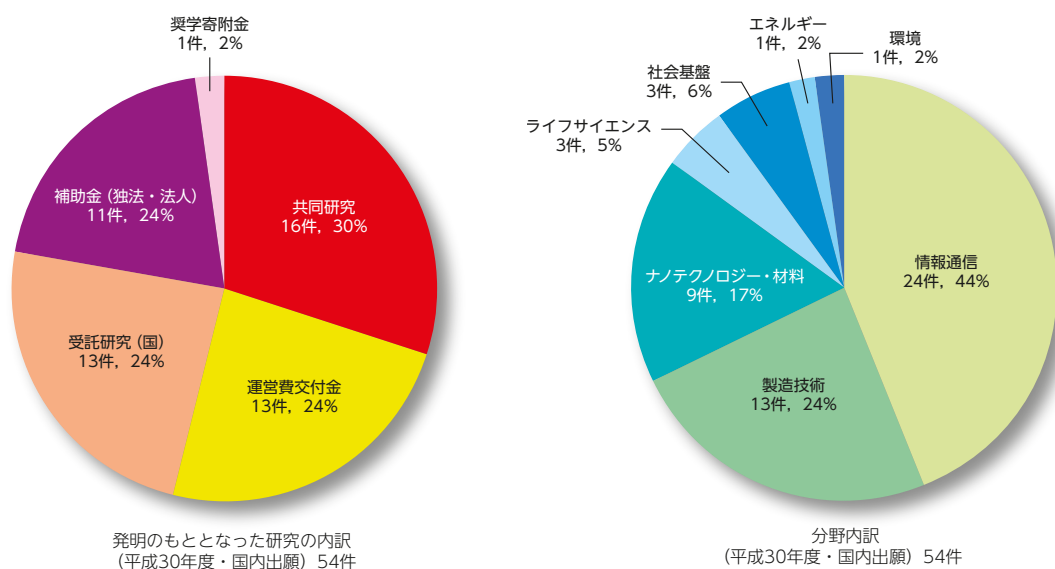
知的財産部門では、大学で生み出される研究成果を社会に還元するため、大学TLOと連携しながら、知的財産の承継と権利化、企業へのライセンス等による活用を図っております。こうした活動を支障なく推進するため、関連規則類の整備や各種契約書（共同研究・受託研究・特許共同出願契約書のひな型）の見直しも適宜実施しております。

また、学内の教員や学生向けの知的財産セミナー、知的財産権の授業、学外の知財関係者向けの知財シンポジウム等を通して、知財への啓発活動や情報発信を積極的に行っております。

2003年に知的財産本部が設置されて以来、知的財産の保護、活用を担うための体制整備とその運営を行ってまいりました。最近の傾向として、本学の主要な研究分野の一つである情報系の知財の活用が盛んになってきています。今後とも学内、学外の皆様方のご要望に沿った支援ができるよう、更なる努力を重ねる所存です。

6-1 知的財産活動

平成30年度の知的財産部門では、発明の届出は67件、そのうち54件を承継した。また、本学の特色である著作物も35件を承継し、成果有体物の届出は4件あった。国内出願の発明のもととなった研究及び分野別の内訳は以下のとおりである。



本年度までの発明届出・出願件数（国内および外国特許出願、特許登録件数の推移を含む）、特許登録件数、特許権・著作権の実施許諾、および譲渡件数・収入の推移は付録のデータ集（Ⅲ.特許統計データ）に記載した。

6-2 産学官連携 DAY

■産学官連携 DAY (知財フェア)

【日 時】2018年6月20日(水) 13:00～15:30

【会 場】電気通信大学 東6号館2階ホール

【開催概要】

本年度で第14回目を迎える産学官連携DAYにおいて、知的財産部門は今回3回目となる「知財フェア」を出展した。

【展示内容】

- ◇ 本学知財活動とイチ押し特許情報を集約したポスター掲示
- ◇ 本学保有特許と公開済み発明を一件一葉にまとめたシーズ集の配布
- ◇ 橋本研究室のリアルタイム画像補正技術(特許出願中)を用いたイチ押し特許のライドショー公開(公開件数:17件)
- ◇ 産学連携事例紹介(「ChiCaRo」(阿部研究員)、「楽しむ」(梶本准教授)、「omoideアプリ」(高橋(弘)准教授))

今回の知財フェアでは特許出願中の技術を実演するという初の試みを行った。この技術は橋本研究室のリアルタイム画像補正技術(特開2017-147638)に関するもので、模様入りのカーテンにスライド画像を投影したときに、カーテンが揺れても揺れにより生じる影や模様をリアルタイムで消し去ることができるという画像補正である。この揺れるカーテンにイチ押し特許のスライドを投影することで「画像補正技術に関する問合せ」と「イチ押し特許の問い合わせ」の両方を来場者からいただいた。尚、相談受付件数は、昨年の相談数を上回る約80件(昨年の2.5倍、一昨年の4.4倍)であった。



産学官連携DAY(知財フェア)の様子

6-3 教員向け個別訪問

■『大学における知的財産』～成功するための留意点と活用事例～

【概要等】

昨年度、学内セミナー「知的財産セミナー2017 大学における知的財産～活用事例と留意点～」を開催したが、業務の都合等から参加できない教員も多く、また、更に踏み込んだ内容の相談等を受ける時間も無かったことから、今年度は、本学着任からそれほど時間の経っていない教員を対象に個別訪問を行い、知財に関する説明を行った。

次年度以降も継続して教員への個別訪問を行うとともに、更なる知財の活用を目指して取り組みを加速する。

【対象者】

- ・本学着任から5年以内の教員の一部(2018年3月31日基準)

【説明内容】

- ・特許・著作権に関する基礎知識
- ・学内手続き、提出書類に関する説明
- ・知財活用を図る上での留意点
- ・本学の活用事例など

【実績】

氏名(敬称略)	職名	所属	訪問日	担当
菅原 健	准教授	情報学専攻	9月21日	村松、本間
萱野 良樹	准教授	情報・ネットワーク工学専攻	8月22日	村松、本間
八巻 隼人	助教	情報・ネットワーク工学専攻	9月27日	村松、本間
高橋 里司	准教授	情報・ネットワーク工学専攻	10月30日	村松、本間
新竹 純	助教	機械知能システム学専攻	10月29日	村松、飛田、本間
小野 哲	助教	情報・ネットワーク工学専攻	11月20日	村松、本間
田仲 真紀子	助教	基盤理工学専攻	10月23日	村松、本間、関口
宇都 雅輝	助教	情報・ネットワーク工学専攻	11月15日	村松、本間
岡本 一志	助教	情報学専攻	11月19日	村松、本間、関口
千葉 一永	准教授	機械知能システム学専攻	11月27日	村松、本間
三輪 忍	准教授	情報・ネットワーク工学専攻	12月14日	村松、本間
西山 悠	助教	情報・ネットワーク工学専攻	12月6日	村松、本間
中嶋 良介	助教	情報学専攻	1月16日	村松、本間

6-4 業界研究セミナー

■平成30年度 業界研究セミナー【知的財産業界】

OB・OGと語る知財のセカイ

【日 時】2018年11月23日(金) 16:00～19:00

【会 場】電気通信大学 UECアライアンスセンター

第1部:2階 ミーティングルーム

第2部:1階 100周年記念ホール

【主 催】電気通信大学 産学官連携センター 知的財産部門

【共 催】学生支援センター 就職支援室、双乃会

平成30年度 業界研究セミナー【知的財産業界】

OB・OGと語る 知財のセカイ

服装自由 電通大生限定 HPで申込み

Patent Copyright
Trademark Design

11/23(金)
16:00-19:00

UECアライアンス
センター2Fミーティング
ルーム

＜第1部＞ 16:00-17:00
知って得する知財業界と資格
特許・企業知財・特許事務所の職種別内容と資格についてOB・OGがレクチャー

＜第2部＞ 17:00-19:00 交流会
先輩から知財の現場の生の声を聴こう！
官公庁、IT通信、自動車、製造、医薬品など
各種大手メーカーOB・OGが多数参加

主催 産学官
連携センター・知的財産部門
共催 学生支援センター・就職支援室

連絡先: ip@semmor@ip.uec.ac.jp
TEL: 042-443-5839

http://www.ip.uec.ac.jp/

業界研究セミナーポスター

【参加対象者】

2020年卒業予定の学部3年生、修士1年生

(就職活動期に得られない情報収集を目的とした学生、知財に興味を持っている学生も受け入れ)

【プログラム】

1. <第1部> 16:00～17:00 セミナー「知って得する知財業界と資格」

特許庁・企業知財・特許事務所の職種別内容と資格についてOB・OGがレクチャー

2. <第2部> 17:00～19:00 交流会「先輩から知財の現場の生の声を聴こう!」

官公庁、IT通信、自動車、製造、医薬品など各種大手メーカーOB・OGが多数参加

【開催概要】

今年度は初の試みとして業界研究セミナーと双乃会（※）を同時開催した。第1部は、アライアンスセンター 1Fで双乃会総会を開催し、同時進行で双乃会の協力を得て2Fで業界研究セミナーを開催した。第2部は、業界研究セミナーに参加した学生が双乃会の交流会に合流して、OB/OGから業界の生の声を聴いた。

（※）双乃会とは、電通大を卒業後、知的財産業界（特許庁、企業知財部門、特許事務所）の職種につく本学OB/OGで構成される知財に特化したネットワーク（会員約350名）であり、昭和54年に発足して今年で39年目を迎える。

1. 第1部「知って得する知財業界と資格」

特許庁や企業などの知財関連部署への就職を希望する学生向けに、特許庁、企業知財、特許事務所の代表OBが学生に対して業務内容を説明し、その職種に向いている人物像についてディスカッションを行った。真剣に耳を傾ける学生の様子が見受けられ、例年にも増して学生から積極的な質問が多くあった。

2. 第2部 交流会「先輩から知財の現場の生の声を聴こう!」

参加OB/OGは、特許庁（22名）、企業知財（24名）、特許事務所（16名）、大学関係者は、学生（12名）、知財部門等の関係者（7名）であった。参加した学生からは、「OBから話が聞けて良かった」、「親身なアドバイスを受けた」といった感想があり、OB/OGからも「今後も学生の相談にのっていきたい」という声が寄せられた。

OB/OGの中には、企業の知財関連部署で要職につかれています方もいて、ちょうど企業と交渉中の知財の案件について直接交渉する機会を得られた。知財活用のチャンネルを拡大するために、今後ともOB/OGの人脈を活用したい。

【参加状況】

参加者人数 13名（うち女性 3名）

事前申込み 17名（うち欠席 5名）

当日申込み 1名

【参加者アンケート結果】 アンケート数12

<セミナーを受講しようと思った「きっかけ」は何ですか?>（複数回答可）

希望職種だから→2名、OB/OGの話を聞きたかったから→3名、情報収集の一環→10名

<知的財産に関する仕事に対する興味について>

セミナー開始前：非常に興味がある（就職希望）・興味がある→9名

セミナー終了後：少し高まった・とても高まった→10名

<OB/OGとの交流会について>

OB/OGと話しができましたか？ 非常に満足、満足→5名

OB/OGからのアドバイスは参考になりましたか？ 非常に満足、満足→5名

<就職活動の参考になったか>

参考になった→12名

<今後もこのようなセミナーを開催したほうが良いか>

開催した方がよい→12名

<運営体制>

- ①開催責任者 本間 高弘 (産学官連携センター 知的財産部門)
- ②共催担当者 小林 智之 (学生課 就職支援担当)
- ③運営スタッフ 村松 宏祥 (産学官連携センター 知的財産部門)
加古 彰子 (産学官連携センター 知的財産部門)
吉松 勇 (研究戦略統括室)
関口 通江 (研究戦略統括室)
鈴木 泰子 (産学官連携センター 知的財産部門)
倉澤 沙桐 (産学官連携センター 知的財産部門)
- ④開催協力者 今野 綾 (学術国際部 研究推進課 産学官連携係)
東城 和子 (学術国際部 研究推進課)



業界研究セミナー 第1部の様子



業界研究セミナー 第2部交流会の様子

6-5 知的財産教育

◇平成30年度 知的財産権に関する授業

平成18年度より知的財産の授業を知的財産部門が担当し、カリキュラム、講師を変更し、学部3年生を主な対象として、前期には知的財産権関係の基本を学習する「知的財産権概論」を、また後期には実際の活用を中心とした「知的財産権管理」を設けた。

その後、平成20年度より大学院において、知的財産権全般についてさらに専門的内容を加味した「知的財産権特論」の授業を開始した。また、平成23年度よりスーパー連携大学院でも「知的財産権特論」の講座を設け、スーパー連携大学院に参加している他大学の大学院生もオンラインで「知的財産権特論」を受講可能とした。本講座は、本学授業の担当講師の他に、専門の外部の弁護士、弁理士にも担当して頂いた。

平成25年度からは情報理工学部先端工学基礎課程にて、知的財産に技術者倫理の内容を加え、新たに「技術者倫理と知的財産」の授業を開始している。

また、平成29年度より3年間、一般財団法人日本レコード協会寄附講座「情報化社会におけるクリエイティブビジネスと著作権」の初回講義で「情報化社会における著作権」を担当する。

【講座内容】

- ◇「技術者倫理と知的財産」情報理工学域 先端工学基礎課程 前学期・2単位
(講師：本間高弘、他)
- ◇「知的財産権」情報理工学域 実践教育科目 後学期・2単位 (講師：本間高弘、吉松勇、他)
- ◇「知的財産権特論」大学院情報理工学研究科 大学院実践教育科目 後学期・2単位
(講師：本間高弘、他)
- ◇「知的財産権特論」スーパー連携大学院 (講師：本間高弘、他)
- ◇「情報化社会におけるクリエイティブビジネスと著作権」
(一般財団法人日本レコード協会寄附講座)
情報理工学域 学域特別講義B 後学期・2単位 【第1回】情報化社会における著作権



一般社団法人日本レコード協会寄附講座 授業風景